

京都大学教育研究振興財団助成事業
成 果 報 告 書

2023年 6月 26日

公益財団法人京都大学教育研究振興財団
会 長 藤 洋 作 様

所属部局・研究科 医学研究科人間健康科学系

職 名・学 年 博士後期課程3年

氏 名 城谷 衣鶴子

助成の種類	令和5年度・国際研究集会発表助成			
研究集会名	第33回 ICM Triennial Congress Bali Indonesia			
発表形式	<input type="checkbox"/> 招待 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 口頭 ・ <input type="checkbox"/> ポスター ・ <input type="checkbox"/> その他(
発表題目	Impact of COVID-19 pandemic on pregnancy and perinatal outcomes: a retrospective cohort study in Japan			
開催場所	インドネシア バリ			
渡航期間	2023年 6月 11日 ～ 2023年 6月 15日			
成果の概要	タイトルは「成果の概要／報告者名」として、A4版1枚程度・和文で作成し、添付して下さい。「成果の概要」以外に添付する資料 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有()			
会計報告	交付を受けた助成金額	150,000 円		
	使用した助成金額	150,000 円		
	返納すべき助成金額	0 円		
	助成金の使途内訳 (差し支えなければ要した 経費総額をご記入ください)	費 目	金 額 (円)	
		航空運賃	161,060	
		宿泊費	56,371	
		滞在費	8,750	
学会参加費		98,138		
その他	9,484			
以上に助成金を充当				
当財団の助成について	(今回の助成に対する感想、今後の助成に望むこと等お書き下さい。助成事業の参考にさせていただきます。) 今回助成金をいただき学会参加費用に補填でき本当にありがたく思っておりますが、可能であれば学会開催前に採択の通知と手続きが行えるとよりよかったですかと思っております。			

成果の概要/城谷衣鶴子

2023年6月26日

インドネシアバリ島ヌサドゥア地域において3年に一度の国際助産師連盟(ICM)による学会が2023年6月11日から14日の日程で開催された。同会議においては、助産師をはじめとする周産期分野関係者・研究者・国連機関など約4000人が一堂に会し、臨床や疫学研究に基づく知見の共有や助産技術向上に向けたワークショップなど様々なセッションが展開された。

当該学生においては、学会3日目の「COVID-19 and clinical impact1」のセッションにおいて、自身の日本における観察研究の結果を口頭発表した。本セッションは、2020年初頭から世界レベルにおいて新型コロナパンデミックによる妊娠・出産・産後への甚大な影響に対して、そのインパクトレビューし対応策の現状や是非について考察する機会とするために大変重要で注目されたテーマであった。セッションの発表者だけでなく会場の参加者らと同テーマについて国や地域での状況の違いを共有しながら様々な意見交換を行えたことは、今後の研究活動において大変有益であったと考える。

また、実際に様々な発表を見聞きすることで、研究のデザインや実施、さらにはプレゼンテーションについて効果的な方法を考える機会となり、自身の今後の研究活動において大変有意義であったと考える。そして、自身の専門的テーマだけではなく、現在の助産分野における潮流や新たな取り組みについて学びを深めるとともに、様々な国の参加者と繋がることができ、今後の研究活動における連携の可能性を考えるきっかけとなった。

以上